

申立事情説明書
(後見開始, 保佐開始, 補助開始)

**本人の
氏名**

この書面は、申立人が記載してください(申立人が記載できないときは、本人の事情をよく理解している人が記載してください。)

の部分については、該当する選択肢の にレ印を付してください。

高知家庭裁判所(安芸支部, 須崎支部, 中村支部) 御中

平成 年 月 日

記入者氏名: _____ 印

(記入者が申立人以外の場合は申立人との関係: _____)

1 あなたの平日昼間の連絡先(携帯電話・自宅又は勤務先)を記入してください。

(1) 携帯電話番号: (_____) - _____

(2) 連絡先名 : _____

電話番号 : (_____) - _____

裁判所名で電話しても(よい・ 差し支える・ 個人名であれば構わない)

2 裁判所から連絡をするに当たり、留意すべきこと(電話できる時間帯等)があれば記載してください(土曜,日曜,夜間,祝日は連絡できませんのでご了承ください。)

.....
.....

第1 申立ての事情について

1 この申立てをする前に、法律の専門家等に法律相談をしましたか。

弁護士に相談した。

司法書士に相談した。

その他(_____)に相談した。

していない。

2 申立書等といっしょに「成年後見申立ての手引き」をお渡ししていますが、お読みになりましたか。

全て読み、内容も理解している。

全て読んだが、理解できなかった部分がある。

まだ読んでいない。 ➡ まず一通り読んでください。

もらっていない。 ➡ すぐに当庁から取り寄せて読んでください。

3 「成年後見申立ての手引き」を読んで理解できなかったこと、さらに知りたいことがあれば書いてください。

.....
.....
.....

4 この申立ての主な目的をお伺いします。

(1) 該当する主な目的の具体的内容を簡潔に分かりやすく記入してください。

事項	主 な 目 的	具 体 的 内 容
	預貯金等の管理又は解約のため	金融機関名： 契約の内容：
	保険金の受取りのため	保険会社名： 契約の内容：
	不動産の処分等のため	対象の不動産： 処分等の内容： 売却， 賃貸， 抵当権等設定， () その理由：
	介護保険契約や施設入所等のため	契約の内容（施設等の名称）： 契約の時期（予定も含む）：
	相続手続のため	被相続人名： 死 亡 日：平成 年 月 日死亡 本人との関係： 相続手続： 遺産分割協議， 相続放棄， () 遺産の内容：
	訴訟手続等のため (現在事件が係属しているときは，裁判所名，事件番号，事件の内容も記載してください。)	手続申立のため： 家事調停， 人事訴訟， その他 () 係属中の事件手続のため： 裁判所 支部 事件番号：平成 年 () 第 号 事件名： 事件の内容：
	身上監護のため	
	その他	

- (2) 前記(1)の事項が実現することによって、本人の財産について、大きな変動が予想されるときは、その時期等について具体的に記入してください。

事 項	番	時 期	変動の事情等
前記(1)の事項	番	平成 年 月ころ	
前記(1)の事項	番	平成 年 月ころ	
前記(1)の事項	番	平成 年 月ころ	

「事項」欄には(1)で記入した番号を記入してください。

5 本人の財産について

- (1) 本人の財産を現在管理している者及び管理している財産について記入してください。

本人の財産を管理している者	管理している財産の内容
本人自身	申立書の財産目録記載のものすべて 以下のとおり
本件申立人	申立書の財産目録記載のものすべて 以下のとおり
その他の人	氏名： 住所・居所： 電話番号： 本人との関係： 管理している財産の内容： 申立書の財産目録記載のものすべて 以下のとおり
誰が、何を管理しているのか不明である。	

- (2) 本人が作成した遺言の有無を記入してください。

自筆の遺言がある（未開封）。

自筆の遺言がある（開封済み）。 ➡ コピーを提出してください。

公正証書遺言がある。 ➡ コピーを提出してください。

不明である。

6 本人の親族について

(1) 本人の配偶者，子，父母及び兄弟姉妹等の親族について，本人との関係，住所，氏名，年齢，本人との同居・別居の区別，それぞれのこの申立てに対する考えを記入してください。

続柄等で囲む	住所氏名	年齢 / 本人との同居・別居の別 / 親族それぞれの考え
配偶者 子 父・母 兄・弟 姉・妹 ()	〒 - 住所 氏名	年齢 歳 本人と，(同居・別居) この申立てについて(知っている・知らない) 申立てをすることに(賛成・反対・不明) 候補者が後見人等になることには，(親族の同意書を提出済み・賛成・反対・不明)
配偶者 子 父・母 兄・弟 姉・妹 ()	〒 - 住所 氏名	年齢 歳 本人と，(同居・別居) この申立てについて(知っている・知らない) 申立てをすることに(賛成・反対・不明) 候補者が後見人等になることには，(親族の同意書を提出済み・賛成・反対・不明)
配偶者 子 父・母 兄・弟 姉・妹 ()	〒 - 住所 氏名	年齢 歳 本人と，(同居・別居) この申立てについて(知っている・知らない) 申立てをすることに(賛成・反対・不明) 候補者が後見人等になることには，(親族の同意書を提出済み・賛成・反対・不明)
配偶者 子 父・母 兄・弟 姉・妹 ()	〒 - 住所 氏名	年齢 歳 本人と，(同居・別居) この申立てについて(知っている・知らない) 申立てをすることに(賛成・反対・不明) 候補者が後見人等になることには，(親族の同意書を提出済み・賛成・反対・不明)
配偶者 子 父・母 兄・弟 姉・妹 ()	〒 - 住所 氏名	年齢 歳 本人と，(同居・別居) この申立てについて(知っている・知らない) 申立てをすることに(賛成・反対・不明) 候補者が後見人等になることには，(親族の同意書を提出済み・賛成・反対・不明)
配偶者 子 父・母 兄・弟 姉・妹 ()	〒 - 住所 氏名	年齢 歳 本人と，(同居・別居) この申立てについて(知っている・知らない) 申立てをすることに(賛成・反対・不明) 候補者が後見人等になることには，(親族の同意書を提出済み・賛成・反対・不明)

書ききれない場合は，このページをコピーして記入してください。

- (2) 前記の親族の中で、この申立てをすることや候補者が後見人等になることに反対の者がいれば、その氏名及び反対する理由を記載してください。また、本人の身上監護や財産管理について、親族の間に意見の相違があれば、その氏名及び内容を記載してください。

反対または意見の相違のある人の氏名	反対している理由や意見の相違する内容等
例 氏名：甲野太郎	例 本人はまだ判断能力がしっかりしている、と考えている。 本人の財産を自分が管理したいと考えている。 私は療養施設に入れたいと思うが、は自宅で介護したいと言っている。 本人所有の不動産の売却時期について、まだ早すぎると言っている。
氏名：	
氏名：	
氏名：	

7 代理権や同意権について

この項目は、以下の場合に記載してください。それ以外の方は8に進んでください。
 保佐開始の申立人が、同意権や代理権付与の申立てをする場合
 補助開始の申立てをする場合

(1) 付けて欲しい代理権又は同意権とその理由

裁判所が本人のため適切な代理権や同意権を過不足なく付けるためには実情をよく把握しなければなりませんので、できるだけ詳細に記載してください。

付けて欲しい代理権又は同意権	必要な理由
例 本人所有の不動産の売買	例 本人所有の高知市丸ノ内の土地を売却し、それを介護費用にあてたいと考えている。

(2) 具体的な代理権や同意権については未定であるが、代理権や同意権が必要と考える事情（現在このような困った状態にある，今後このような事態が想定される等）は次のとおりである。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

8 この申立てに関して困っていること，家庭裁判所に特に留意して欲しいこと等があれば記入してください（例えば，親族のうち が本人の財産を自己のために消費している可能性があるので心配している等）。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

第2 本人の状況について

1 本人の生活

(1) 本人は現在どこで生活していますか。

病院，老人ホーム等の施設（入院日・入所日：平成 年 月 日）

病院・施設名：

所在地：〒 -

電話 ()

種類	国・公・私立病院	特別養護・一般有料老人ホーム
	知的障害者施設	その他

転院・移転予定あり

予定日：平成 年 月頃：

予定されている移転先病院・施設名：

移転先病院・施設の所在地：

〒 -

電話 ()

種類	国・公・私立病院	特別養護・一般有料老人ホーム
	知的障害者施設	その他

転院・移転予定なし

自宅又は親族宅

自宅（又は親族宅）での本人の介護は，次のとおりである。

介護サービスを受けている。

（要支援状態・要介護状態，区分1・2・3・4・5）

親族が介護している。

（介護者：

介護は受けていない。）

(2) 障害等の認定を受けていますか。

療育手帳 (A 1 , A 2 , B 1 , B 2)

精神障害者手帳 (1 級 , 2 級 , 3 級)

その他：

いずれもない

2 本人の病歴等を記入してください。

時 期	病 名	初回の受診時期もしくは期間	その後の通院・入院歴等
例：平成8年5月	例：脳梗塞	例：平成9年9月～平成10年6月	例： 病院入院
平成 . .			
平成 . .			
平成 . .			

3 本人の経歴（出生，学歴，職歴，結婚，出産等）を，わかる限り記入してください。

年月日	学歴・職歴，家族関係等の変動	年月日	学歴・職歴，家族関係等の変動
・ ・	出生	・ ・	
・ ・	最終学歴（ ）を卒業	・ ・	
・ ・		・ ・	
・ ・		・ ・	
・ ・		・ ・	
・ ・		・ ・	

4 本人に関わることで，これまでに家庭裁判所の手続を利用したことがありますか。

ない

ある → 時期：平成 年 月頃

裁判所名： 家庭裁判所 支部・出張所

事件番号：平成 年（家 ）第 号

申立人氏名：

事件の内容： 禁治産宣告・ 準禁治産宣告・ 後見開始・ 保佐開始
 補助開始・ 任意後見監督人選任
 その他（ ）

5 本人のこの申立てに対する認識について

本人はこの申立てがされることを知っていますか。

知っている。

本人は，後見人等をつけることに同意していますか。

同意している。

同意していない。（理由 ）

分からない（本人が理解できない場合を含む）。

候補者が後見人等になることについての本人の意向はどうですか。

本人は，候補者が後見人等になることに賛成している。

本人は，候補者が後見人等になることに反対している。

（理由 ）

分からない（本人が理解できない場合を含む）。

知らない（その主な理由は次のとおりである）。

本人は理解できる状態にない。

本人は理解できる状態だが，本人に不安を与えたくないので，知らせていない。

本人は理解できる状態だが，本人が申立てに反対すると思うので，知らせていない。

その他（ ）

6 本人の現在の状態について

(1) 裁判所まで来ることは

可能である。

不可能，又は容易には来ることができない。

(2) 移動することについて

自立歩行可能（自力で車椅子で移動できる場合も含む）。

介添えにより車椅子で移動できる。

介添えにより起きあがることができる。

寝たきり。

植物状態。

(3) 会話能力

会話は成り立つ。

発語はあるが，意味が通じない，又は通じないことが多い。

発語はできない。

(4) 診断書の記載以外に，本人の判断能力や容態について，主治医から聞いていることや，その他参考になることがあれば，その内容を記載してください。

特にない。

次のとおりである。

.....
.....
.....
.....

7 本人が裁判所へ来ることができなければ，家庭裁判所調査官が本人のところへ面接調査に行く場合があります（ただし，土曜日，日曜日及び祝祭日を除く。）。訪問時に留意すべき点（訪問可能な時間帯，本人の在宅予定及び本人の精神面への注意事項等）があれば記載してください。

.....
.....
.....
.....